



# 東京藝術大学サマースクールin奥出雲

## ♪文化の薫り高い町づくり♪

ふれあいコンサートで町歌を合奏

東京藝術大学の教授や大学院生を講師に招き、町内の音楽団体への実技指導や交流による文化振興を目的とした「東京藝術大学サマースクールin奥出雲」が、八月十六日から二十一日まで開催されました。

この企画は、一流の音楽に触れ、文化の薫り高い町を目指すべく、町内八つの音楽団体を組織する奥出雲文化まちづくり実行委員会（山本勝昭委員長）が主催。東京藝術大学としても初めての試みで、町文化芸術アドバイザー・岡弘道氏の仲介のもと、同大学の教授と講師、六人の大学院生を迎えました。

### ♪音符の意味からしっかりと各団体に基礎レッスン

スクールでは、小・中学・高校の吹奏楽部、一般の吹奏楽コーラスグループで、二時間のレッスンを二回ずつ行われました。

初日に行った横田高校吹奏楽部のレッスンでは、藝大音楽部ソルフェージュ科講師の茂木真理子さんが「演奏するために、音符や記号など、



横田高校でのレッスンの様子

楽譜を正しく理解することが重要」と話し、生徒たちは、音符や音楽記号の読み方、音を聴いて楽器の音を合わせるといった基礎を学びました。

また、最終日に合同演奏する町歌などを大学院生と一緒に演奏し交流を深めました。吹奏楽部部長の荒金璃子さん（二年）は「基本は押さえたいつもりだったが、新たな発見があった。また、先生たちの音色を聴いて刺激を受けた」と話し、短時間のレッスンから多くのことを学びとっていました。

### ♪スクールの集大成♪ふれあいコンサート

スクール最終日の二十一日には、集大成となる「ふれあいコンサート」が、町民体育館で開催されました。会場には、レッスンを受けた音楽グループや関係者を始め、町内外から約五百人が訪れました。

### ♪先生たちへの感謝を込めてコンサート第一部♪



地元コーラスグループによる合唱

コンサート前半の第一部では、レッスンを受けた吹奏楽部や音楽グループが演奏を披露しました。藝大の講師が見守る中、レ

ッソンの成果を發揮しようという気持ちを入れて演奏していました。各演奏が終わると、レッスンを行った講師や観客から惜しめない拍手が送られました。温かく迎えてくれた

### ♪コンサート第二部♪

お礼の気持ちを込めて

コンサート後半の第二部では、大学院生の演奏が披露されました。大学院生たちは「私たちが温かく迎えてくれた皆さんへのお礼の気持ちを」と、会場に美しい音色と歌声を響かせました。観客は、国内屈指の音楽学生が奏でる音楽に酔いしれていました。



大学院生による演奏

### 会場がひとつになった合奏

コンサートの最後には、全員で町歌と唱歌「ふるさと」の合同演奏を行いました。全員が、スクールでの思い出や故郷への思いを胸に、会場にふるさとのメロディーを響かせました。

### スクールを終えて

レッスンとコンサートを終えて、レッスンをした大学院生とレッスンを受けた生徒たちの表情は達成感に満ちていました。

藝大の茂木講師は「皆さんの音楽に対する純粋さを感じた。町歌という地域に根ざした音楽をぜひ誇りに思ってもらいたい」と話されました。

また、山本委員長は「このスクールを契機に、各音楽団体が互いに手を取り合うことが大切。奥出雲の文化づくり、活性化にまい進したい」と、音楽を始めとした文化の薫り高い町づくりへの思いを話されました。

### レッスンをしていた大学院生へのコメント

田中拓也さん（サクソフォン）「楽しくできました。楽譜が読めれば世界中で音楽ができる。頑張ってください」  
鳥越崇裕さん（トロンボーン）「楽譜を読むことはとても大切。この経験を活かして自分たちも頑張りたい」  
井口 蓮さん（声楽バリトン）「皆さんとふれあって、音楽の楽しさを再認識し、初心に帰ることができた」

### 堀菜々子さん（クラリネット）

「皆さんに教えることで、自分も学ぶことがたくさんあった。自然豊かなこの町で感性を磨いてほしい」  
山本恵利花さん（ピアノ）「皆さんと一緒に演奏することで、音楽の素晴らしさを改めて感じた」  
寺本純子さん（フルート）「皆さんの音楽への情熱の強さに、改めて気づくことがあった。これからも音楽を楽しんでほしい」

## 町文化芸術アドバイザーに岡弘道氏



委嘱書を受ける岡氏

「奥出雲町文化芸術アドバイザー」に岡弘道氏が就任し、委嘱書交付式が八月十六日、役場仁多庁舎で行われました。岡氏は、東京藝術大学卒業後、NHKに入局。同局では

数多くの音楽番組を担当し、退局後はくらしき作陽大学音楽学部客員教授として後身の指導に当たられています。また平成十八年には、奥出雲町歌の制定に尽力されました。

「奥出雲町は、音楽や芸術に熱心。音楽や芸術に関わる子どもたちと懇談の場も持ちたい」と話す、岡氏。今後は、年間を通じ、文化・芸術に関する総合的支援を行っていただきます。

## 第41回全日本中学生ホッケー選手権大会 横田中学校男子ホッケー部 第3位



強豪相手に堂々の3位 横中男子ホッケー部

京都府で八月十二日から十五日まで開催された「第四十一回全日本中学生ホッケー選手権大会」において、横田中学校男子ホッケー部が第三位を獲得しました。三位以上の獲得は、平成十九年の第三十七回大会以来です。

大会準々決勝では、瀬戸中学校（岡山）に四対〇で快勝。続く準決勝・朝日中学校（福井）戦では、二点を先制されましたが、フォワードの大塚光輝選手が二点を返して延長戦に突入。最終、優位に試合を進めたものの延長後半にペナルティコーナーからのこぼれ球を押し込まれ、惜しくも敗れました。横田中らしい豊富な運動量とスピードのあるホッケーを展開し健闘しました。また、同校女子ホッケー部は、準々決勝で磐梨中学校（岡山）と対戦。二対一で惜敗したものの、健闘しベスト8となりました。

八月二十二日には、男子ホッケー部の落合晴輝主将と女子の荒川千尋主将が、役場仁多庁舎を訪れ、落合主将からは「優勝には届かず残念だが、山」と対戦。二対一で惜敗したものの、健闘しベスト8となりました。

準決勝では練習の成果を發揮できるプレーができた」と、荒川主将からは「最後まで諦めず、チーム一丸となった悔いのないプレーができた」と、それぞれ井上町長に大会の結果を報告しました。